

# 睡眠障害治療薬院内フォーミュラリ

★24時まで内服することが望ましい★

- 日中の機能障害や不眠症状の特徴から治療の要否を判定すること
- 睡眠衛生指導を行う
- 眠気の持ち越しといった副作用を確認する

監修 精神・神経科 奥小路 明子 医長  
初版作成 薬剤部 堀 勇太  
2021年4月28日改訂 薬剤部 前 万紀子  
2022年4月22日改訂 薬剤部 森 良江  
2024年4月 薬価改訂

## 入眠困難のみ

### 第一推奨薬

**デエビゴ錠5mg**  
1錠 分1寝る前

(82.7円/5mg/錠)  
(52.1円/2.5mg/錠)

- 併用禁忌薬なし
- 重度の肝障害(Child-Pughスコア10~15)は**禁忌**
- ★及び併用注意の薬剤がある場合  
→**2.5mgで併用可能**
- 年齢による用量調節**不要**
- 眠気の持ち越しある場合→2.5mgに減量

**ベルソムラ錠15mg**  
1錠 分1寝る前

(90.8円/錠)

- ★と併用**禁忌**
- 年齢により用量調節が**必要**(高齢者15mg)
- 細かな用量調節はできない

効果は同等

◆ 呼吸状態不良  
◆ ベルソムラで相互作用や眠気の持ち越しが問題となる例

**ラメルテオン錠8mg**  
1錠 分1寝る前

(24.4円/錠)

(夕食後でも可)  
即効性は期待できない  
→**頓用(不眠時内服)とはしない**

### 第二推奨薬

◆ 若年者  
◆ 併存疾患が少ない呼吸抑制が問題となりにくい症例では第一選択可

**エス・ピクロン錠1mg**  
2錠 (高齢者1錠)  
分1寝る前

(8.9円/錠)

増量：不眠時1日2回まで  
→追加頻度をみながら  
定期内服薬の用量を調節  
最高用量：3mg  
(高齢者は2mgまで)

以下を追加 (※原発性不眠は適応外)

**トラゾドン錠25mg** (5.9円/錠)

1錠 分1寝る前 最高：100mg  
(80歳以上) 0.5錠 分1寝る前から開始

増量：不眠時1日2回まで  
(追加頻度をみながら定期内服薬の用量を調節)

改善に  
乏しい

精神科コンサルテーションを検討

### CYP3Aを強く阻害する薬剤

イトリノール(イトラコナゾール)、  
ノキサフィル(ボサコナゾール)、  
ファイェンド(ボリコナゾール)、  
クラリス(クラリスロマイシン)、  
ノービア(リトナビル)

( ) 内は一般名

## 中途覚醒・混合型

### 第一推奨薬

**デエビゴ錠5mg**  
1錠 分1寝る前

(82.7円/5mg/錠)  
(52.1円/2.5mg/錠)

- 併用禁忌薬なし
- 重度の肝障害(Child-Pughスコア10~15)は**禁忌**
- ★及び併用注意の薬剤がある場合  
→**2.5mgで併用可能**
- 年齢による用量調節**不要**
- 眠気の持ち越しある場合→2.5mgに減量

**ベルソムラ錠15mg**  
1錠 分1寝る前

(90.8円/錠)

- ★と併用**禁忌**
- 年齢により用量調節が**必要**(高齢者15mg)
- 細かな用量調節はできない

効果は同等

### 第二推奨薬

◆ 若年者  
◆ 併存疾患が少ない呼吸抑制が問題となりにくい症例では第一選択可

**エス・ピクロン錠1mg**  
2錠 (高齢者1錠)  
分1寝る前

(8.9円/錠)

増量：不眠時1日2回まで  
→追加頻度をみながら  
定期内服薬の用量を調節  
最高用量：3mg  
(高齢者は2mgまで)

( ) 薬価 (2024.4時点)

改善に  
乏しい

- ・ QT延長を起こす薬剤との併用は注意
- ・ **ワルファリン内服中の患者は注意(作用減弱)**
- ・ **緑内障、排尿困難患者注意(抗コリン作用)**

参考文献：添付文書、UpToDate®：  
Pharmacotherapy for insomnia in adults,  
睡眠薬の適正な使用と休薬のための診療療  
ガイドライン